

分科会 発表

第一班・増山さん(日港
労連)、第二班・星野さん
(全倉連)、第三班・宮崎
さん(検定労連)、第四班
・竹川さん(大港労組)、
第五班・法土さん(全港
湾)、第六班・藤森さん(検
数労連)がそれぞれ堂々と
発表された。

714回港湾労働



学習内容を職場に活かす!!



講座 1 ~ 4

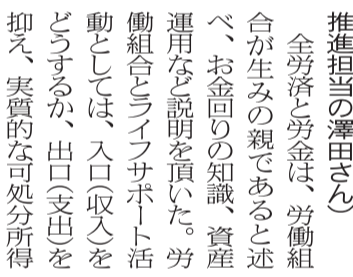


「一七春闘の経過と協定
内容について」(玉田書記
長)

港湾産別協定と一七港湾
産別春闘について、解説を
受けた。産別労働協約の重
要性は、産別で最低条件を
決めることにあり、労働条
件を企業間競争の要件にし
ない、公正・公平競争の土
台である。労働協約を職場
で生かす活動が重要との指
摘をされた。



「全労済の取り組みにつ
いて」(全労済産別・広域



推進担当の澤田さん)
全労済と労金は、労働組
合が生みの親であると述
べ、お金回りの知識、資産
運用など説明を頂いた。労
働組合とライフサポート活
動としては、入口(収入)を
どうするか、出口(支出)を
抑え、実質的な可処分所得
の上昇効果の一部としてラ
イフスタイルに合った保険
(保障)を考える必要がある
ことなどの説明を頂いた。



「ITF(国際運輸労働
の活動について」(ITF
東京龍所長)

ITFの紹介から始ま
り、ITFの取り組みの現
状やPOC(便宜置籍船、
POC(便宜置籍船)等の説
明等を受けた。講演では、
交通運輸産業の未来(第四
次産業革命)物のインター
ネット、ビッグデータ、人



「産別団体交渉と独占禁
止法について」(弁護士、宮
里先生)

①独占禁法上の規制は、産
別交渉・産別協約に及ばな
い。それを規制するのは、
憲法二八条と労働組合法に
違反する。②産別交渉・産
別協約への独占法適用論
は、労働運動の歴史に逆行
し、産別労働運動を実上否
定するに等しい。③産別交
渉・産別協約を独占法違反
とする公正取引委員会の排
除処置命令・課徴金は違法。
と結論付け、日港協のクレ
ーションの考えは不適切で
ある。法律論というよりは、
産別労働運動の弱体化を狙
っている。なぜそうなった
か、文献にも一切ないので、
解らないのが感想であると
のコメントがあった。

工能、ロボット等、自分
達にどうかかわってくるの
か注視する必要があるとの
コメントが、とりわけ印象
に残った。

ボウリング大会

(ボウリング結果)

【団体の部】

- 一位(二〇二ピン) 寶納
雅行さん(全港湾)、和田
創さん(日港労連)、岩瀬
幸広さん(日港労連)、伊
藤陽佑さん(全倉連)
- 二位(九八四ピン) 土田弘
好さん(全港湾)、江原拓
之さん(日港労連)、中田博
之さん(駿河港湾・全港
湾)、池田武(検定労連)
- 三位(九七八ピン) 法土豊
行さん(全港湾)、立花寿
雄さん(日港労連)、中村
宏さん(日港労連)、山田
毅郎さん(全倉連)
- BB(七七九ピン) 山崎武
司さん(日港労連)、吉田
直樹さん(東京港湾・全港
湾)

【個人の部】

- 一位(三三九ピン) 永山盛
順さん(全港湾)
- 二位(三三四ピン) 原田雄
司さん(全港湾)
- 三位(三二二ピン) 和田創
さん(日港労連)
- BB(二一六ピン) 岡橋一
平さん(関門港湾・全日港
湾)、岡橋一平さん(関門
港湾・全日港湾)、太田尚志
さん(駿河港湾・全港湾)



団結ガンバロー!!

